

## 環境にやさしい水づくり

水は自然からの大いなる恵みであり、水道事業は環境と深い関わりを持っています。また、「水」を私たちが安全に安心して利用できる「水道水」にするまでには、電力をはじめ非常に多くのエネルギーを必要とします。

大阪広域水道企業団では、「環境にやさしい水づくり」をめざして、省エネルギー対策や新エネルギー設備の活用、リサイクルの推進など環境保全の取組を推進しています。

## 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

### ●浄水発生土の有効利用の促進

水道水をつくる過程で、水中に浮遊している濁り成分を取り除きますが、この濁り成分を集めて凝縮し、土状にしたものを浄水発生土といいます。

浄水発生土は、そのままでは産業廃棄物として処理をすることになりますが、企業団では、無薬注排水、乾燥処理を行い減量を図るとともに、「あくあふれん土」という愛称で、ランド用資材・園芸用土として、民間業者への販売や府内公共事業体への譲渡等を行い、有効利用を促進しています。



### ゼロカーボンドライブの実施

企業団では、令和4年3月に関西電力株式会社と「カーボンニュートラルの推進等に関する包括連携協定」を締結し、カーボンニュートラルの推進やレジリエンスの強化等を図るため、連携した取組を推進しています。

この取組の一つとして、太陽光で発電した電力を電気自動車に活用する「ゼロカーボンドライブ」（水道事業者としては国内初の取組）を実施しています。

## 新エネルギー・未利用エネルギーの活用推進

企業団では、事業活動で消費するエネルギーや発生する二酸化炭素の削減に取り組むため、浄水処理や送水運用の効率化などの省エネルギー対策を行うとともに、新エネルギーや未利用エネルギーの活用にも取り組んでいます。

### ●太陽光発電設備

村野浄水場と三島浄水場では、沈でん池上部に太陽光発電パネルを設置し、得られた電力を水づくりに活用しています。

企業団の実施している高度浄水処理は、凝集沈でん処理の前に塩素を注入していないため、沈でん池に藻が発生して過処理時に目詰まりを起こすおそれがありますが、この太陽光発電パネルが遮光板の役目を果たし、藻の発生を抑制する効果もあります。

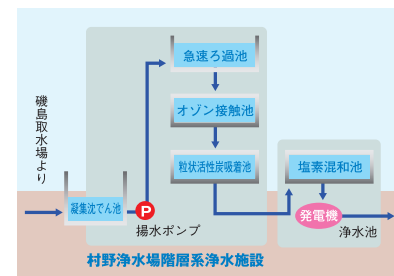


最大発電電力(公称)	村野浄水場 360kW 三島浄水場 360kW
------------	----------------------------

### ●水位差発電設備

村野浄水場階層系浄水施設では、塩素混和池と浄水池間の水位差エネルギーを利用して発電しています。発電した電力は、場内の電力の一部として使用されています。

最大発電電力(公称)	200kW
------------	-------



### ●受水圧力発電設備

村野浄水場と郡家ポンプ場の間には高地があるため、送水ポンプで高い圧力をかけて水を送り出していますが、低地にある郡家ポンプ場に水が届く際には余剰圧力が生じます。郡家ポンプ場では、この余剰圧力を回収して発電しています。

最大発電電力(公称)	320kW
------------	-------

